

囃子、その

ググルーヴ

特別公演
主催 能之花洩

十四世喜多六平太記念能楽堂
2022年12月22日(木)

プレトーク 午後5時30分より(開場午後5時)
本公演 午後6時開演



能において謡(声)と同じく重要な要素である囃子(楽器)。大鼓・小鼓・笛・太鼓の四つの楽器は四拍子とも呼ばれ、そのリズムは躍動感と静謐性を演出します。この公演はその囃子の中でも登場楽と舞にスポットを当て、四拍子全ての囃子方にご登場いただき、前半は実演を含めた解説、後半は舞囃子をご覧ください。

※登場楽とは 能楽において登場人物が登場する際に演奏される囃子のこと。

「名ノリ笛」・「次第」・「一声」・「出端」・「早笛」などの種類があり登場するキャラクターによって使い分けられる。

またこの公演での舞とは囃子の演奏のみにあわせてシテ方が舞う狭義の「舞」を指し、

「中の舞」「神舞」「序の舞」「楽」「神楽」などの種類がある。



終了予定
午後8時30分頃

邯鄲

友枝 真也

大倉 慶乃助
成田 達志
栗林 雄郎
栗林 祐輔

井筒

友枝 雄人

大倉 慶乃助
成田 達志
栗林 祐輔

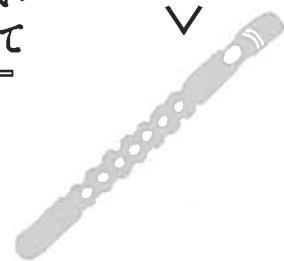
舞囃子

休憩

大鼓 大倉 慶乃助
小鼓 成田 達志
太鼓 栗林 祐輔
林 雄一郎



「登場楽と舞について」
実演と講座
へプログラム



大倉 慶乃助

大鼓方大倉流。1983年東京都生。大倉正之助長男。故山本孝に師事。1996年独鼓「天鼓」にて初舞台。2000年「猩々乱」2001年「石橋」2002年「翁 三番叟」2007年「道成寺」2015年「卒都婆小町」を抜く。能楽協会会員。ニューヨークグッゲンハイム美術館やカンボジアのアンコールトムでの能公演等、海外公演多数参加。



成田 達志

小鼓方幸流。1964年神戸市生。故曾和博朗・曾和正博に師事。1974年居囃子「女郎花」にて初舞台。1979年「翁」脇鼓1982年「乱」1983年「石橋」1992年「道成寺」1994年「翁」頭取を抜く。重要無形文化財(総合指定)。公益財団法人能楽協会常務理事。2016年芸術選奨 文部科学大臣新人賞を受賞。



栗林 祐輔

笛方森田流。1977年千葉県生。松田弘之及び杉市和に師事。国立能楽堂第六期研修修了。2001年 舞囃子「善界」にて初舞台。2009年「道成寺」2011年「翁」2015年「望月」「恋之音取」を抜く。能楽協会会員。通常の古典能を中心に新作・復曲にも多数参加。



林 雄郎

太鼓方観世流。1981年熊本市生。故観世元伯に師事。2004年舞囃子「高砂」にて初舞台。2011年「乱」、2012年「道成寺」2014年「石橋」2018年「翁」2018年「鷲」を抜く。能楽協会会員。東京芸術大学非常勤講師。

■予約開始
■チケット情報

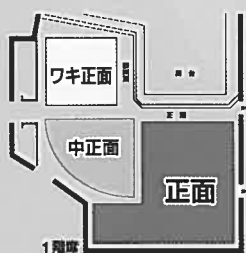
2022年10月21日(金) 10:00am～

座席指定料(¥1000)にてお好みのお座席をご指定いただけます。

●一階自由席 6000円 ●二階自由席 4000円 ●学生席(二階自由席) 2000円

※学生席をご利用の方は学生証の提示を求められる場合があります。

Webサイトでの先行予約があります。詳しくはホームページにて。 <https://tomoeda-kai.com/>



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車での来場はご遠慮願います。

■お申込み・お問合せ

TEL:03-3491-8813

公益財団法人 十四世六平太記念財団

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

【交通案内】

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分



COVID19 感染拡大防止のため、使用する座席を制限して開催する予定です。